



水道メータボックスの鉄蓋落下による転落事故発生について

1 概要

令和6年4月2日（火）午前10時30分頃、市内のビルにおいて、水道メータ取替業務を委託している事業者（以下「委託事業者」という。）がメータボックス内の口径50mmのメータの取替えを実施しました。その後、午前11時頃、この建物に居住されている男性が、当該メータボックスの鉄蓋の上を歩いていたところ、鉄蓋が外れたことによりボックス内に転落し、右足及び右腕を負傷されたため、近隣住民の通報により、救急車で病院に搬送されました。

2 対応状況

事故発生後、局職員と委託事業者で被害に遭われた方の入院先を訪問し、お怪我をさせてしまったことを深くお詫びするとともに、お怪我の状況を確認しました。

3 被害に遭われた方の状況（本人から聞き取り）

右下腿打撲及び挫創（全治2～3週間）
右肘部打撲（1週間から10日程度の加療）

4 原因

委託事業者が水道メータの取替え後、鉄蓋を閉めた際には、作業員4人で鉄蓋の収まり具合等を確認したとのことですが、鉄蓋が外れた原因は不明です。

5 今後の対応

被害に遭われた方の1日も早い回復をお祈りするとともに、契約書に基づき、委託事業者に被害に遭われた方への賠償手続きをするよう指示し、委託事業者も了承しました。

6 再発防止策

水道メータボックスの鉄蓋を閉めた際の安全確認を確実にを行うため、チェックリストを作成し、これを複数人で確認した上で、写真を添付する対応等を実施するよう、委託事業者に指示しました。

中央部分の鉄蓋が落下した状態のメータボックス

